

氷蓄熱式空調システムマニュアル

第1章 はじめに

第2章 低温送風空調システムのメリット

2.1 経済的な空調システムの実現

2.1.1 イニシャルコスト

2.1.2 ランニングコスト

2.2 省エネルギーの実現

2.3 低湿度環境の実現

2.3.1 低湿度環境実現手法の一つとしての低温送風空調システム

2.3.2 低湿度環境の快適性についての調査例

2.3.3 低湿度環境の実現についての注意点

第3章 低温送風空調システムを設計するためには

3.1 低温送風空調システムのメリットを活かす建築計画

3.1.1 建物の気密化による外気侵入量低下

3.1.2 断熱化による空調負荷低減

3.1.3 負荷に近接した機械室配置

3.2 低温送風空調システム計画上の留意点

3.3 熱負荷計算上の留意点

3.3.1 低湿度化にともなう空調負荷量の変化

3.3.2 快適性と省エネルギーを考慮した目標室内温湿度の設定

3.4 空調システム計画

3.4.1 空調システム計画上の留意点

3.4.2 引張型空調機と押込型空調機

3.4.3 室内空気質環境の検討

3.4.4 空調機選定

3.5 低温送風空調システムの搬送システム計画

3.5.1 ダクト設備の計画

3.5.2 配管設備の計画

3.5.3 制御系の設計

3.6 氷蓄熱の水温特性

3.6.1 放熱時間帯の冷水温度変化

3.6.2 蓄熱槽内温度シミュレート

3.6.3 空調機冷水入口温度と送風温度の実測例

付録

- 事例 1 東京電力技術開発センター（新築）
- 事例 2 カプコン研究開発ビル（新築）
- 事例 3 東京電力豊島支社（リニューアル）